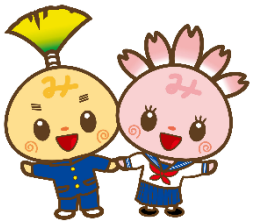
2021. 2. 1 No.92

図書館だより

発　行：三島市立図書館
所在地：三島市大宮町１－８－３８
電　話：０５５（９８３）０８８０
ＦＡＸ：０５５（９８３）０８７６

企画展示

「懐古・学び舎 ～三島の小中学校の移り変わり～」



２月 27 日から三島の小中学校の歴史を紹介する展示を行います。このおたよりでは、三島の小学校の移り変わりについて少しだけご紹介します。実際の展示ではより詳細な情報を中学校も含めて紹介しますので、ぜひこの企画展示にお越しください。

●三島の小学校の移り変わり

三島の学校教育の始まりは明治時代。三島宿の名主だった世古六太夫（せころくだゆう）などの有志が、就学希望者を受け入れるため、明治５年５月久保町伝馬所の空き部屋を使用し、「開心庠舎（かいしんしょうしゃ）」を設置しました。翌６年４月には、「開心庠舎（かいしんしょうしゃ）」を「三島黌（みしまこう）」と改称し、三島宿における近代教育が始まりました。その後生徒が多くなり、教室も狭くなったため、明治 12 年陣屋跡（現在の三島市役所本館）に校舎を新築移転しました。当時の教師は 13 人、生徒は 489 人でした。

明治 19 年４月には小学校令が公布され、「尋常三島小学校」が誕生しました。三島宿は明治 22 年市町村制により三島町となり、小学校も明治 29 年には「町立三島尋常小学校」へ校名を変更しています。その一方で、明治 21 年から君沢、田方両郡で「組合立高等小学校」を設置しましたが、明治 40 年４月の小学校令改正により「組合立高等小学校」が解散となったため、三島町では「町立三島尋常小学校」を「三島第一尋常高等小学校」と「三島第二尋常高等小学校」の２つに分け、男女別の小学校としました。この「三島第一尋常高等小学校」（男子）が後の「南小学校」、「三島第二尋常高等小学校」（女子）が後の「東小学校」です。

３番目の小学校「三島第三尋常小学校」（後の西小学校）は、大正 14 年の開校で、「北小学校」の開校は終戦後の昭和 24 年です。なお、「徳倉小学校」「佐野小学校」の前身は北上村にあり、昭和 10 年の北上村との合併で三島町の学校となりました。また、昭和 16 年の錦田村と三島町の合併に伴い三島町は三島市となり、錦田村にあった「錦田小学校」「坂小学校」の前身も三島市の学校になりました。「中郷小学校」の前身は中郷村にあり、昭和 29 年の中郷村と三島市の合併により、現在の名称となっています。

三島市には現在 14 の小学校がありますが、「沢地小学校」「向山小学校」「北上小学校」「山田小学校」「長伏小学校」は、児童数の増加にともない、校区を再編する中で昭和 49 年から 54 年にかけて開校しました。

●展示期間　２月２７日（土）～５月２７日（木）
●展示場所　１階ふるさと文学者コーナー
●展示資料　三島の小中学校の誕生から現在までの移り変わり、各校の校歌や校章など

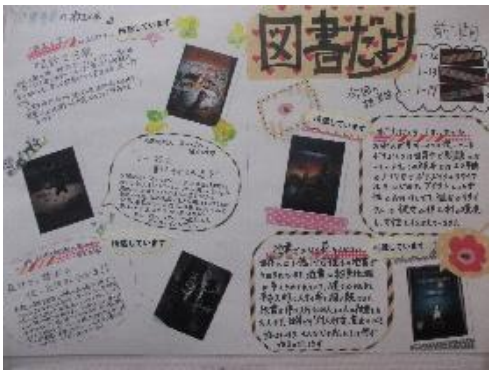
参考文献
『学校経営書』 三島市教育委員会［K376 123 ｶ］、**『三島市誌 下巻』** 三島市［K212.3 ﾐ］
『みしま―小学校郷土読本―』 三島市教育研究会［K212.3 ﾐ］

YA 展示

「中・高生からのおすすめ本」

三島市立図書館では、中・高生向けの図書を YA（ヤングアダルト）と表示した YA コーナーの書架で紹介しています。小説や絵本の他に、進学や資格・仕事についての本などがあります。

現在、YA コーナーの企画展示として、日本大学三島高等学校・中学校図書室の図書委員会の皆さんが素敵なポップで本を紹介してくれています。一緒に掲示中の図書だよりやポップを見て、本を選んでみませんか？



●展示期間　２月２５日（木）まで
●展示協力　日本大学三島高等学校・中学校図書室
●展示資料
『吹部！』 赤澤竜也／著 飛鳥新社［913.6 ｱｶｻ］
『息子と狩猟に』 服部文祥／著 新潮社［913.6 ﾊｯﾄ］
『青の誓約－市条高校サッカー部－』 綾崎隼／著 ワカマツカオリ／イラスト KADOKAWA［913.6 ｱﾔｻ］
『か「」く「」し「」ご「」と「』 住野よる／著 新潮社［913.6 ｽﾐﾉ］ ほか

トピックス

「図書館のデジタル化資料をご存知ですか？」

三島市立図書館では、所蔵している古い地域資料の傷みを防いで後世に引き継ぎ、かつ皆さんが利用しやすくするため、資料のデジタル化を進めています。デジタル化した資料はレファレンスコーナーの利用者用パソコンでご覧いただくことができます。

●これまでにデジタル化した資料
『子供之世界－震災慰問号－大正 12 年 10 月号』子供之世界社［K370 123 ｺ］
関東大震災当時の様子が書かれた三島周辺の子供たちの文集。
『軌跡 60』田中勲／著［K088 ﾀ］庶民大学三島教室などに参加した田中勲氏の伝記。
『俳諧　鳴鶴集』贄川邦作(他石)／編 鳴鶴社［K913 ﾊ］
贄川他石氏が三島で発行した俳句研究の論集。　　など 45 タイトル

また、デジタル化した地域新聞を、ホームページや図書館内の検索機で検索できるように、記事に索引（検索用に内容を表した目次のようなもの）をつける作業を続けています。特に、図書館内の検索機では、「新聞記事検索」のメニューで検索した後、そのまま原本の画像を見ることができます。ぜひご利用ください。

●索引をつけてある資料
『三島ニュース　第 1 号(1949.4.1)～第 1021 号(1973.1.21)』
『三島民報　第 152 号～第 211 号（1952 年)』 ほか

地域新聞記事検索

●ホームページでの公開
図書館ホームページでは、デジタル化資料のテスト公開を行っています。こちらもぜひご覧ください。

デジタル化資料テスト公開 →

企画展示

「ピアノの詩人『ショパン』 ～“みんなショパンに恋してる！” in 図書館～」

★一般コーナーから

皆に愛され続けてきた、作曲家フレデリック・ショパン（1810－1849)。生涯の中で美しいピアノ曲を数多く残しています。三島市民文化会館で開催される「みしま ALL DAY クラシック・フェスタ 2021“みんなショパンに恋してる！”ALL ショパンプログラム」にあわせ、ショパンの作品ガイドやショパンを題材にした小説などを紹介します。ぜひご覧ください。

●展示期間　３月３０日（火）まで

●展示資料

『フレデリック・ショパン全仕事』小坂裕子／著 アルテスパブリッシング［762.34 ｼｮ］

『ショパン・コンクール-最高峰の舞台を読み解く-』青柳いづみこ／著 中央公論新社［763.2］

『葬送　第１部・第２部』（全２巻）平野啓一郎／著 新潮社［913.6 ﾋﾗﾉ］

『ショパン炎のバラード』ロベルト・コトロネーオ／著 河島英昭／訳 集英社 ［973 ｺﾄ］ほか

★視聴覚コーナーから

数多くの作曲を成し遂げた音楽家フレデリック・ショパンの CD を集めた特集コーナーを設置しました。この機会にショパン作曲の CD を聴いて、その音楽を満喫してみませんか。

●展示期間　３月３０日（火）まで

●展示資料

『マイ・フェイヴァリット・ショパン』［KG ｼｮ］

辻井伸行／ピアノ エイベックス・エンタテインメント

2005 年開催の第 15 回ショパン国際ピアノ・コンクールで「批評家賞」を受賞した辻井氏が、ショパン生誕 200 年のメモリアル・イヤーに因んで作成したアルバム。当コンクールで演奏したマズルカなど聴きどころ満載です。

『トロイメライ-ロマンティック・ピアノ名曲集』［KG］

牛田智大／ピアノ ユニバーサルミュージック

幼少期から数々のピアノコンクールで優秀な成績を収める牛田氏 14 歳のときのアルバムです。３月７日、三島市民文化会館で開催される「牛田智大ピアノ・リサイタル」演奏予定曲「ポロネーズ第６番〈英雄〉」も入っています。

『ショパン-200 年の肖像』［EA］ 西村由紀江／プロデューサー ハッツアンリミテッド

西村由紀江氏(ピアノ) 、葉加瀬太郎氏(ヴァイオリン)、古澤巌氏(ヴァイオリン)、柏木広樹氏(チェロ)ほか豪華アーティストによる競演集。ショパンの名曲が収録され、クラシックを気軽に楽しめるＣＤです。

★三島市民文化会館のイベント

「みしま ALL DAY クラシック・フェスタ 2021

“みんなショパンに恋してる！”ALLショパンプログラム」

【開 催 日】（プレイベント）３月６日（土） （イベント）３月７日（日）

【開催場所】三島市民文化会館（三島市一番町20－5）

【内　　容】音楽劇「ショパン物語」・「牛田智大ピアノ・リサイタル」ほか

※詳細は三島市民文化会館のチラシ等をご覧ください

【問 合 せ】三島市民文化会館（TEL 055-976-4455）

キッズ

こどものへや

「まちどおしい“春”」

もうすぐさむい冬がおわり、春がやってきます。
本の中にも、春をまっているどうぶつたちやお友だちがたくさんいます。
みなさんも絵本のなかまといっしょに“春”を見つけてみませんか？

『はなをくんくん』

ルース・クラウス／ぶん　きじまはじめ／やく　マーク・サイモント／え　福音館書店　[E サイ]

雪がふる山の中、ねむっていたどうぶつたちが、めをさましはじめました。くま、かたつむり、りす、やまねずみたちがみんな、はなをくんくんさせながら、はしっていきます。そして、お花がひとつ、ゆきの中にさいているのをみつけます。春が来たうれしさで、みんなわらっておどりだします。

『春の足音』

那須正幹／作　永田萠／絵　ポプラ社　[E ナカ]

立春の日、ミカは先生が言っていた「春の足音」をよしみちゃんといっしょに探しにいくことにしました。公園で、春の音を聞いたふたり。その音を聞くと、体がぽかぽかあたたかくなってきました。春がよしみちゃんとミカだけにとくべつに聞かせてくれた音、そんな気がしたのでした。
さあ、どんな音だったのでしょうか？

● ほかにも読んでみよう！

『うさちゃんのニュースーなにかが、なにかが、よんでいるー』

ルース・L・ボーンスタイン/作　くすたえりこ/訳　ほるぷ出版　[E ホン]

『ぽとんぽとんはなんのおと』　神沢利子/作　平山英三/絵　福音館書店　[E ヒラ]

『春になったらあけてください』　増井邦恵/作　あべまれこ/絵　BL出版　[E アヘ]

『春をさがそう　海野和男のみぢかなしぜんのふしぎ』

海野和男/写真・文　新日本出版社　[460.7]